



リサイクル資材(スラグ、焼却灰、建設資材等)の有効利用のための環境安全性評価試験

製品リサイクルのために必要な環境安全性評価試験をお手伝いいたします。

リサイクル資材(スラグ、焼却灰、建設資材等)の環境安全性評価試験の必要性

- 近年、焼却灰、建設残土、スラグなどは、資源として利用価値が見直されています。社会全体のリサイクル意識の高まりを背景に、さらなるリサイクルを促進することが求められています。
- リサイクル資材中の一部の成分(F、Se等)は、漏洩による土壌や地下水等の環境への影響が懸念されており、溶出成分量や含有成分量の把握が必要です。
- 当社では、お客様の試験目的に応じて、JIS法、環告法、底質調査法等による各種溶出試験、含有試験はもちろんのこと、高温、酸・アルカリ浸漬等、実使用環境を模擬した溶出試験も実施しております。

分析・評価の対象

- 工場や設備・施設からの副産物、およびそれらを材料とするリサイクル資材・製品を対象といたします。
例) 焼却灰、ごみ溶融スラグ、鉄鋼スラグ、土壌、汚泥・スラッジ、燃え殻、廃酸・アルカリおよびそれらを原料とするリサイクル資材・製品や添加混練物



スラグ試料



汚泥/スラッジ試料



土壌試料

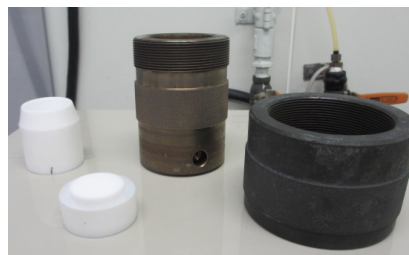
対応可能な環境安全性評価試験

- 以下のような環境安全性評価試験(一例)に対応いたします。下記JIS法や環告法に準じた評価試験方法に加え、高温、酸・アルカリ共存下等様々な条件での溶出試験、および全含有量分析などが可能ですので、ぜひご相談ください。

試験方法	対象試料	内容
JIS K 0058-1 JIS K 0058-2	スラグ類、路盤材、 コンクリート製品	スラグ材料及びそれらを用いた製品の安全性を評価するために行う化学物質の溶出量試験及び化学物質の含有量試験方法
環告13号	産業廃棄物	産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法
環告19号 環告46号	土壌、路盤材等土 工材料・建設資材	土壌含有量調査に係る測定方法 土壌の汚染に係る環境基準について、項目と測定方法を規定

● その他の評価試験の一例

- ・ オートクレーブを用いた高温・高圧下で浸漬・溶出試験
 - ・ 耐酸・加圧密閉容器を用いた浸漬・溶出試験
- ⇒ 浸漬・溶出試験後の試料の評価および溶出液の成分分析など一連の分析・評価も併せて実施できますので、ぜひご相談ください。



耐酸・加圧密閉容器



オートクレーブを用いた
高温・高圧試験